

令和8年度 県教委当初予算案

- ・ 不登校対策ステップアップルームは小学校にも設置！
- ・ 生成A I 搭載やまぐちっ子学習プリントのC B T化！
- ・ 地域クラブ活動の実施に要する経費について市町へ補助！
- ・ 小学生の学校給食費負担を軽減！

2月24日、山口県教委が令和8年度教育委員会当初予算案を発表しましたので概要をお知らせします。

I 当初予算の基本的な考え方

『山口県教育振興基本計画(R5～R9)』に基づく取組の成果を最大化していく予算と位置づけ、諸施策をさらに加速化するとともに、喫緊の教育課題等の克服や教育環境のさらなる充実に向けて、特に重点的に取り組むべき5つの施策を掲げ、積極果敢に挑戦する」としています。

《教育目標》 未来を拓く たくましい「やまぐちっ子」の育成

《教育振興基本計画 6つの施策の柱》	《令和8年度重点施策》
1 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	01 「やまぐち PRIDE」の醸成
2 新たな時代を創造する人材を育む教育の推進	02 県立高校の特色化・魅力化の推進
3 誰一人取り残されることのない教育の推進	03 いじめ・不登校等対策の一層の強化
4 学校・家庭・地域が連携・協働した教育の推進	04 「やまぐちスマートスクール構想2.0」の推進
5 生涯を通じた学びの充実	05 質の高い教育環境づくりの推進
6 豊かな学びを支える教育環境の充実	

県教連の見解 昨年度は重点項目の中に「教員確保と学校における働き方改革の推進」が入っていましたが、それが外れています。国は「教員確保と学校における働き方改革」に非常に力を入れており、県教委が重点項目からそれを外したのは疑問です。今後の県教委の取組を注視していく必要があります。

II 予算規模

予算総額 1,364 億 9,900 万円 (前年度比 約 145 億円増)

	令和8年度			令和7年度	増減
	当初予算額A	構成比	対前年度比	当初予算額B	A-B
教育委員会所管予算	1364 億 9900 万	17.4	111.9	1219 億 8800 万	145 億 1100 万
(給与関係経費除く)	285 億 2600 万	3.6	120.2	237 億 2600 万	48 億 0000 万
県一般会計予算	7862 億 9500 万	-	106.3	7398 億 4000 万	464 億 5500 万

県教連の見解 前年度比 約 145 億円増には驚きました。ここ数年の県教委予算額は 1200 億円台、県予算における構成比は 16%程度であったので大幅な増額と言えます。増額の主な理由を見てみますと、「教職員退職手当 (+58 億円)」、「学校給食費 (+32 億円)」、「高校再編施設整備 (+15 億円)」となっています。県教連が強く要望してきた内容で言えば、「不登校対策ステップアップルーム」が小学校にも設置されるなど一部で拡充されました。要望が実現した部分もありますが、これで現場の逼迫した状況が大きく改善されるとは考えられず、引き続き全ての教職員が一丸となって要望していく必要があります。

Ⅲ 令和8年度重点施策（新規・拡充等の主な事業）

01 「やまぐち PRIDE」の醸成

新やまぐち専門高校魅力創出事業 1993 万円

専門高校の学科特性を活かした課題解決型学習を推進するとともに、小・中学生や保護者等に対して専門高校の魅力を積極的に発信することで、進路意識の醸成及び専門高校のさらなる魅力向上を図る。

02 県立高校の特色化・魅力化の推進

拡県立高校空調整備関連事業、高校再編に係る施設整備関連事業 42 億 4981 万円

県立高校の特別教室への空調整備と「第3期県立高校将来構想」を踏まえた、学校・学科の再編に必要な施設整備を行う。

03 いじめ・不登校等対策の一層の強化

拡ステップアップルーム設置校の拡大 給与費

不登校対策のためのステップアップルームを中学校に加え新たに小学校に設置し、学びの場の確保及び教室復帰に向けた支援を充実させる。

《小学校》新規設置 《中学校》R7：35校⇒R8：増設 ※設置数は未定とのこと

拡サポート教員アドバイザーの拡充 給与費

ステップアップルームサポート教員への指導・助言や校内教育支援センターにおける不登校支援等を行うアドバイザーを配置（R7：1人⇒R8：2人）

04 「やまぐちスマートスクール構想 2.0」の推進

新生成AI搭載やまプリCBTによる学力向上支援事業 1 億 0284 万円

「やまぐちっ子学習プリント」をCBT化し、生成AIによるサポート機能を導入することで、児童生徒が生成AIと対話（生成AIによる問い返し、ヒント提示、自動採点機能を付加）しながら、学びを自ら推し進める力の向上と確かな学力の定着を図る。

05 質の高い教育環境づくりの推進

新部活動の地域展開・地域クラブ活動推進事業 4 億 7927 万円

「休日の地域クラブ活動の実施」、「部活動の地域展開等に向けた推進体制の整備」、「平日の部活動の地域展開等に向けた実証事業の実施」に要する人件費、諸謝金、旅費、通信運搬費、印刷製本費、会議費、備品費等について市町への補助を行う。 ※補助額は未定とのこと

新学校給食費負担軽減事業 31 億 9977 万円

[支援対象] 給食を実施する公立小学校の設置者である市町、給食を実施する県立特別支援学校の小学部

[負担割合] 国 1/2、県 1/2

[基準額] (市町) 1 か月あたり 5,200 円 (県立特別支援学校) 1 か月あたり 6,200 円

[支援額] 在籍児童数×基準額×11 か月

拡教員採用試験等選考実施費 2599 万円

前年度の第二次試験不合格者のうち総合評価A又はBの者は第一次試験免除。それに加えて、C又はDの者で、県教委が提供する教材等を活用し自己研鑽に努め、その成果を県教委が認めた場合、第一次試験を免除する。

県教連の見解 令和8年度の県教委予算は、山口県における少子化や若者の県外流出への対策を強く意識した予算案となっています。その点は重要であり一定の評価をしながらも、県教連としては、たくましい「やまぐちっ子」の育成のためには教職員の人材確保が極めて重要であることから、引き続き、学校の働き方改革の加速化を求めるとともに、県内の教員志願者数が増えるよう、早期退職者が増えないよう、様々な施策の充実を求めていく必要があると考えています。